



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

幸せとは何か（問題提起）

校長 永浜 裕之

私は、先生方から、皆さんが勉強で頑張ったことや、部活動で成果を上げたことなど、日々、様々な報告を受けています。皆さんが努力して成果を上げたことや、苦しみを乗り越えたことを聞くと、とても温かい気持ちになります。でも、時には、今、苦しんでいるといった報告を聞くこともあります。

そこで今日は、「**幸せとは何か**」と言うことを書きます。

いつもと同じように、「私はこう考える」ということで、皆さんは「私の話を鵜呑みにする」のではなく、自分の意見を持ってください

私は葛飾区に生まれ、共同玄関、共同トイレの、今はあまり見ない、長屋のような住まいで育ちました。20世帯位の家族が、真ん中の廊下をはさみ、左右に振り分けられた部屋で暮らしていました。戦争が終わって10年以上過ぎていましたが、まだ戦争のにおいを、あちらこちらに感じるような時代でした。上野公園に行けば、復員した兵隊さんが物乞いをしている姿もよく見かけました。

同じ建物に暮らす知人の中に、当時、小学2年生だった「私」をかわいがってくれる、いつも笑顔の、中年の女性がいました。あるとき私が、「いつも幸せそうですね」と話しかけると、「ちょっと待っていて」と言って、部屋から手紙をもってきて、「これはね。死んだお母さんにあてて書いた手紙なの。」とことわり、読んでくれました。

「かあさん、ごらんなさい。こんなかわいい花嫁さんを。かあさんがとても心配し、心を残していった、6人兄弟の、この写真があのお母さんですよ。数え年3つの妹、5つの弟、8つの弟、10の弟、13の妹だった。

戦争が終わり、大変な中、この家族がよく生きてこられたものだと、不思議に思っています。かあさんの着物で交換したお芋や大根、カボチャの雑炊をすすり、夜もよくおなか（腹）に風が通って、眠れなかったものです。

どうにかみんな一人前になりました。最後に、かわいい花嫁さんを新婚旅行に送り出して、**私もやっと母親代わりの役が終わりました**。今日、かあさんの命日に、誰に気兼ねもなく、かあさんに手紙を書いています。

かあさん、この20年つらかった。

おなかに吹き通る風は平気でしたが、**心に吹き通る風はとてもつらかった**。でも、みんなの前では泣きませんでした。今は、**この胸の中にいっぱい沈んでいる切ないものを、かあさんに聞いてもらいたくて……**」

そのお姉さんは37歳の時に手紙を書いたそうですから、母親と死別した20年前は、皆さんと近い17歳だったわけです。苦勞して育てた兄弟は皆、家を出て、自分は一人で暮らしていました。

彼女は話を続け、「私は、苦勞はしたけど、とても幸せよ。だって、6人の兄弟、みんな生活できているから」と話され、「その手紙」を「あげる」と私に渡しました。

さて、本日のテーマ、**人間の幸福とは何でしょうか。**

（新宿山吹だより 令和3年度 第1号に続きます）

「明日に架ける橋」

卒業式を終え、司会が「卒業生退場」と発声後、ほどなくして、卒業生の担任団が決めた曲をバックに卒業生が退場します。式のクライマックスの一つといえる場面です。

以前、よく使われていた曲が、ポール・サイモンが作詞・作曲をし、1970年に発表された「Bridge Over Troubled Water」(邦題:明日に架ける橋)です。恋人を温かく見守るという詩が、教師が生徒を見守っていく決意と通じるものがあると考えます。

新宿山吹高校は、都立高校では最も遅い3月24日に卒業式を行います。単位制高校故、卒業生も在校生も混在した授業を行っており、ぎりぎりまで授業を行っているためです。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。「幸多かれ」と願っています。

BRIDGE OVER TROUBLED WATER	Words & Music by Paul Simon
When you're weary Feeling small When tears are in your eyes I will dry them all I'm on your side When times get rough And friends just can't be found Like a bridge over troubled water I will lay me down Like a bridge over troubled water I will lay me down When you're down and out When you're on the street When evening falls so hard I will comfort you I'll take your part When darkness comes And pain is all around Like a bridge over troubled water I will lay me down Like a bridge over troubled water I will lay me down Sail on Silver Girl, Sail on by Your time has come to shine All your dreams are on their way See how they shine If you need a friend I'm sailing right behind Like a bridge over troubled water I will ease your mind Like a bridge over troubled water I will ease your mind	君が疲れ果て、自分自身をちっぽけに感じたり 君の瞳に涙がいっぱいの時には 僕がその涙を乾かしてあげよう 僕は君の横にいるよ(味方さ) つらい時が来て 友達が見つからない時も 逆巻く水の上に架かる橋のように 僕が身を投げ出してあげよう 逆巻く水の上に架かる橋のように 僕が身を投げ出してあげよう 君が落ち込み、打ちのめされたと感じた時 あてもなく通りをさまよう時 つらい夕暮れがやってきた時は 僕は君を慰めてあげるだろう 君の苦しみと変わってあげよう 暗闇がやってきて 苦痛がいたるところにたちこめる時 逆巻く水の上に架かる橋のように 僕が身を投げ出してあげよう 逆巻く水の上に架かる橋のように 僕が身を投げ出してあげよう 銀色の少女よ 出航しよう 漕ぎ出すのだ 君の輝く時が来たんだよ 君の夢は、すぐそこまで来ている ごらん そこで輝いているのを もし友達が必要なら 僕がすぐ後ろで見守っているから 逆巻く水の上に架かる橋のように 僕が君の心に安らぎを与えよう 明日に架かる橋のように 僕が君の心に安らぎを与えよう

定時制課程 学校行事予定

4月6日(火)始業式
 7日(水)入学式
 8日(木)対面式、部活動紹介、
 進路オリエンテーション(新入生)
 9日(金)「人間と社会」オリエンテーション(新入生)
 12日(月)ウォークラリー(避難訓練)(新入生)
 「人間と社会」オリエンテーション、演習(在校生)
 13日(火)授業開始

通信制課程 学校行事予定

4月5日(月)入学者選抜
 9日(金)合格発表・手続①
 10日(土)合格発表・手続②
 11日(日)科目履修登録日
 14日(水)定時制併修生説明会
 15日(木)他校併修生説明会
 17日(土)学習システム説明会
 24日(土)入学式